



8月13日
令和7年
(2025年)
競泳インカレ号外

世界水泳代表 加藤

青木

ヒップ 臍 脂 の 精鋭 たちよ 不冠

〈土橋俊介 撮影〉

〈安藤香穂 撮影〉



昨年度、男子総合7位、女子総合3位に終わった競泳部門。男女とも目標には届かず悔しい結果となった。世界大会経験者をとする今年は、チームの強さを最大限発揮して悔しさを晴らしたい。今年度スロガンの「燐」が示すのは、メンバー一人一人が輝き、強烈な存在感を見せるチームだ。全員で得点を積み重ね、男子総合5位、女子は初となる総合優勝を狙う。

早稲田スポーツ新聞会
東京都新宿区戸山1-24-1
早稲田大学学生会館 早稲田スポーツ新聞会
郵便番号 162-0052
00110-7-171180
編集人 中村 樹村 陸大
発行人 中村 環為
印刷所 東日印刷

競泳
第101回日本学生選手権

早稲田スポーツ

◆男子出場選手一覧◆				
名前	出身校	種目	ベストタイム	
松田藍青主将(スポ4)	愛知	1 0 0 ミル 平泳ぎ 2 0 0 ミル 平泳ぎ	1 分01秒14 2 分12秒22	
原空輝	東福岡	1 0 0 ミル 自由形 2 0 0 ミル 自由形	48秒99 1 分48秒96	
村上汰晟	明石南	2 0 0 ミル 背泳ぎ 1 0 0 ミル 背泳ぎ	1 分59秒01 55秒08	
林大輝(スポ4)	同志社香里	2 0 0 ミル 自由形 4 0 0 ミル 自由形	1 分50秒97 3 分57秒44	
飯田光達	八王子学園八王子	4 0 0 ミル 自由形 2 0 0 ミル 背泳ぎ	3 分52秒41 1 分58秒41	
入江崇也(スポ3)	佐伯鶴城	2 0 0 ミル バタフライ 1 0 0 ミル バタフライ	1 分58秒92 53秒78	
新開誠也	鹿児島情報	2 0 0 ミル バタフライ 1 0 0 ミル バタフライ	1 分56秒87 52秒90	
山口遼大	暁星	50 ミル 自由形 1 0 0 ミル バタフライ	22秒54 52秒75	
松井理宇(スポ2)	日大豊山	1 0 0 ミル 自由形 50 ミル 自由形	49秒56 22秒81	
松下湊(スポ2)	駒場	1 0 0 ミル 背泳ぎ	55秒89	
木村佳華(スポ1)	桃山学院	2 0 0 ミル 自由形 4 0 0 ミル 自由形	1 分50秒88 3 分55秒32	
添田重樹(スポ1)	逗子開成	2 0 0 ミル 背泳ぎ 1 0 0 ミル 背泳ぎ	55秒79	
高井直人(スポ1)	金沢	1 0 0 ミル 平泳ぎ	1 分01秒90	
高橋俊太郎(スポ1)	仙台二	1 0 0 ミル 自由形 50 ミル 自由形	50秒59 23秒14	

◆女子出場選手一覧◆			
名前	出身校	種目	ベストタイム
亀井涼子女子主将 (スポ4)	淑徳巣鴨	200m 平泳ぎ 100m 平泳ぎ	2分15秒54 1分01秒63
船越彩椰	淑徳巣鴨	100m 自由形 50m 自由形	55秒80 25秒84
木崎京香 (政経4)	早実	400m 個人メドレー 200m 個人メドレー	—
内田さくら (スポ3)	向陽	100m 自由形 50m 自由形	56秒22 25秒75
柴田菜摘 (商3)	早実	200m 自由形 100m 平泳ぎ	2分04秒09 1分03秒34
高橋実花 (教3)	仙台二華	200m 個人メドレー 100m バタフライ	—
二宮歌梨 (教3)	早実	100m 自由形 50m 自由形	56秒25 25秒90
松崎りん	日大二	800m 自由形 400m 自由形	8分38秒33 4分10秒66
青木虹光	明和県央	800m 自由形 400m 自由形	8分36秒87 4分13秒33
加藤心富	春日部共栄	100m 平泳ぎ 200m 平泳ぎ	1分06秒56 2分24秒24
熊谷奈津季 (スポ2)	戸山	100m 平泳ぎ	—
松村千桜 (人2)	佐久長聖	200m 個人メドレー	—
水野柚希	栄東	200m 平泳ぎ 100m 平泳ぎ	2分10秒55 1分01秒35
竹澤瑠珂	武蔵野	200m 自由形 400m 自由形	1分58秒86 4分09秒27

竹澤瑠璃（スポンサー東京・武蔵野）の活躍にも期待した。大学生の五輪とも呼ばれるユニバ。原は4×100メートルフリーリーの2泳で47秒台を記録し銀メダル獲得に貢献した。1500メートルでは青木の中盤まで一位をキープ。800メートルでアメリカ勢の逆転を許すも、3位を守り切った。800メートル自由形では竹澤が後半にかけてペースを上げ銅メダルを獲得。世界を経験

成の鍵となりそうた。
られるから、チーム目標

全員で栄光を

火が高く燃えあがって、
く様子を表現し、この輝
が目立つことを特に意味
る「耀」のロゴカー。目
指すのは全員が輝けるに
した。他の強豪大に比べ
手数の少ない早大。チー
目標を達成するには、エ
一人の得点が重要にな
る。エシンの誇りを胸に
早稲田の名をとろかせ

（神田夏希）

を獲得した原空輝（スボ）と悔しい結果になったが、初の大舞台への出場は加藤の自信につながっただろう。インカレでは1000ポイントで大会記録の更新と、2年連続となる1000ポイントで2冠を目標とする。ハイレベルな世界の舞台を経験した者としての意地を見せつけたい。

また、同7月に開催されたワールズユニバーシティゲームス（ユニバ）でメダ

ル期待がかかる。日本選手としては新聞開設も5位3ポイントの好成績を挙げた。集大成のインカレになる船越彩椰（スボ4）東京・淑徳大学は、自由形距離の強豪を見せ、主要な決勝の常連となりつづける。個人種目でインカレの表彰台を未だ経験したもののメンメンバーたちも、着実に力をつけてきたと彼らがどこまで順位を上

世界を糧に 今年のインカレは男子総合5位、女子は昨年に続いて初の総合優勝を狙う。注目は今 year 7月に世界水泳へ初出場し、長年ベテラン勢が率いてきた女子平泳ぎ界に頭角を現した加藤だ。決勝進出を目指して挑んだ200歳平泳ぎ。『前半はいい感じ』（加藤）だったものの、後半にペースを上げられず自己ベストには及ば

勝利へ期待 インカレでのメダル獲得がかなわなかった選手も、主要大会でその存在を感ずってきた。早大の青森佑しん引いてきた村上汰（スボ4年兵庫・明石南）は、今年3月の日本選手会の200歳平泳ぎで4位、急成長を見せた岡田（スボ3年東京・八王子学園八

強い早稲田へ

昨年度の日本学生選手権（インカレ）では、男子総合４位、女子総合優勝という目標には届かなかったものの、松本信歩（令アスボ卒）あいおいニッセイ同和損保）や加藤心富（スポ２増城玉・春日部共栄）の優勝をはじめ、リレー種目でも強さを見せて合計１２個のメダルを獲得した。

した選手たちが早大に勢をもうけたらずなう。

昨年度はインカレ、50自由形で銀メダルを獲得した山口遼太（スポ３川東・曙星）と、2003リザードで銀メダルを獲得した野口裕（先理2増城玉・山手東）。山口は昨年のジャパンプンで、水野は昨年の日本選手権25メートルで銀メダルを獲得しましたが、今年の活躍からも目



3人で表彰台なるか



原
個人
初の
金へ

の金へ

○：「日本代表の原空輝になれるように。昨年のインカレ前対談でこう語った原。今年3月の日本選手権、100メートル自由形で自己ベストを更新し、決勝では48秒にタイムを上げて48秒台に乗せ銅メダルを獲得した。世界水泳の出場権はあと二歩のところを逃したものの、その言葉通り日本代表としてユニバに出る100メートル自由形は11位に終わったがメダリスト入りしたリレー3種目で表彰台に輝いた。

原の強みは、前半から行なうこと。昨年のインカレの100メートル自由形は、50メートルの折り返しでは1位につけるも、全体としては3位。思うようなタイムが出なかった。今年は前半でしっかりと差をつけた上で、後半に力に耐えられるかが勝負となりそうだ。昨年のインカレで銀メダルを獲得し、ユニバではリレーを組んだ仲間でもある柳本幸之介（日本一制し、花形の男子100メートル自由形で昨年のリベンジを果たせるか。ベストインカレで初となる表彰台の頂点へ上り詰めた。

（上）大の女子自由形離は、今年さらに飛躍を見せた。昨年のインカレ8000級自由形で銅メダルを獲得した青木、同種目で4位に賞した松崎りん（二）（三）東京、日大の2人に、昨年の全国高校総体で大会新記録を樹立し、二冠を果たした注目選手も、青木と松崎を新たに加えた布陣で挑む。青木と青澤はそれぞれこの種目で二バに出場。青木は1000級、竹澤は8000級で3位に輝き、好調ぶりを示した。松崎も調子上げており、関東学生選手権の4000級自由形で自己ベストを更新。大会記録を塗り替える活躍で、存在感をアピールした。

今年のインカレは女子4000級と8000級自由形で熾烈な表彰台争いが予想され、昨年この2種目で銀メダルを獲得し、今年オーストラリアの世界選手権で優勝した堀本一花（同志社大）とどきまで勝負できるかに期待だ。ペーサーを崩す下半身にかけてくる松上がつけてくる崎、テノボの速ストロークを武器とする青木、長距離も走まるこのない速いキックを強みとする竹澤。3人全員で決勝のスタート白に立ち、表彰台をワセタで埋めるのも夢ではない。

定期購読のお申し込みは
sousupoteikikoudoku@gmail.com
まで